

**製品名:** リン酸化ヒストン H3 (Ser10/Thr11) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe84921

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 15 kDa; Observed MW: 15 kDa

**抗原情報**

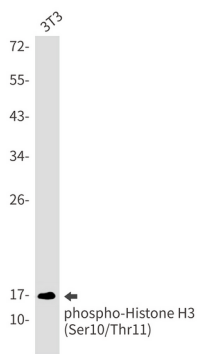
遺伝子名	Phospho-Histone H3 (Ser10/Thr11)
別名	H3 histone; family 3A; H3 histone; family 3B (H3.3B); H3.3A; H3.3B; H33; H3F3; H3F3A; H3F3B; Histone H3.3
遺伝子 ID	8350.0
SwissProt ID	P68431
免疫原	ヒトヒストン H3 の Ser10/Thr11 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

**背景**

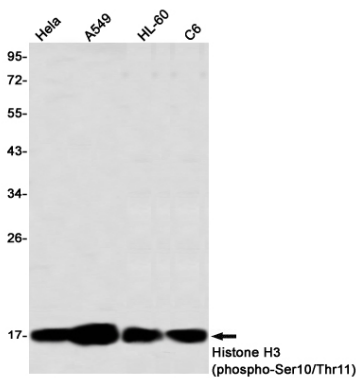
H3ヌクレオソームの核となる構成要素。ヌクレオソームはDNAをクロマチンに包み込み、DNAを鋳型として利用する細胞機構へのDNAのアクセスを制限します。ヒストンは転写制御、DNA修復、DNA複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。

## 研究分野

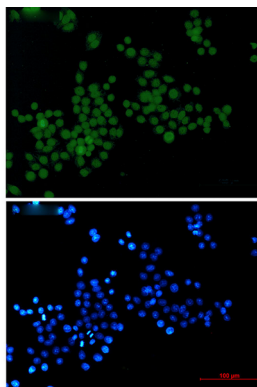
## 画像データ



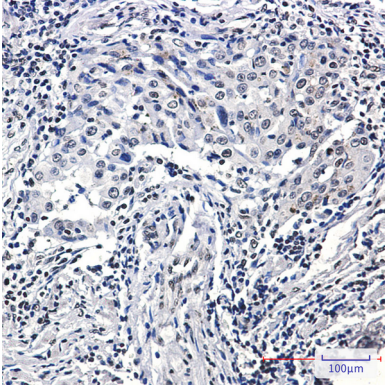
リン酸化ヒストン H3 (Ser10/Thr11) 抗体を使用した 3T3 溶解物中のリン酸化ヒストン H3 (Ser10/Thr11) のウエスタン プロット分析。



ヒストン H3 (リン酸化 Ser10/Thr11) 抗体を用いた HeLa、A549、HL-60、C6 ライセート中のヒストン H3 (リン酸化 Ser10/Thr11) のウエスタンプロット分析



リン酸化ヒストン H3 (Ser10/Thr11) 抗体および DAPI (青) を使用した、HeLa のリン酸化ヒストン H3 (Ser10/Thr11) (緑) の免疫細胞化学分析。



ヒストン H3 (リン酸化 Ser10/Thr11) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。